

日蓮聖人のお言葉

冬はかならず春となる。

いまだ昔より聞かず、見ず、冬の秋とかえれる事を。

いまだ聞かず、法華経を信ずる人の凡夫となる事を。

经文には。若し法華経を聞く者有らば、一人として成
仏しないことはない。と説かれて候。

(妙一尼御前御返事 聖人五十四歳 著述)

■現代語訳■

冬はかならず花の咲く春になります。

冬が秋に逆戻りしたなどということ、昔から聞いたことがない
でしょう。

そのように、法華経ほけきょう（妙法蓮華経みょうほうれんげきょう）を信ずる人が成仏じょうぶつ
しないで凡夫のままでいるということ。

妙法蓮華経みょうほうれんげきょう方便品ほうべんほんだい第二には「もし法華経を聞くことが有る
者は、一人として成仏じょうぶつしないことがない」と説かれているので
す。

・成じょうぶつ仏ぶつ・・・覚さとりを得えて、永えい遠えんなる安心を得ること。

■解説■

日蓮聖人にちれんしょうにんはこの文章を通じて、「法華経ほけきょうを信しん仰こうする者には、
どんな苦難くなんが有ろうとも、必ず苦しみは終わりを迎え、心の安ら
ぎや良いことが訪おとずれるのであるから、お釈迦様の助けや救いが
有ると信じ、安心して人生を送りなさい」と教えられています。

法華経の肝心かんじんである「南無妙法蓮華経なむみょうほうれんげきょう」と唱えることによ
り、お釈迦様の絶対の救いが有ることを信じて、何事なにごとにも恐おそれる
ことなく、苦しみを乗り越えて下さい。

